

一坪農園

開園マニユアル

一坪農園を設置して、『野菜づくり』、
『生きがいくづくり』に取り組みませんか？
農作業を通して、新しい仲間作り、
楽しみを見つけましょう！



平成 26 年 3 月

公益財団法人いきいき岩手支援財団

マニュアル作成

いきいき岩手支援財団では、被災地の応急仮設住宅の入居高齢者が活動する場が不足しており、生活機能の低下を防止することが課題となっていることから、高齢者の活動促進やコミュニティづくり等への効果について調査研究を行うこととし、平成 24 年度、25 年度に一坪農園を設置しました。

調査研究の成果として、一坪農園において、高齢の入居者が共同で野菜や花づくりの農作業を行うことにより、高齢者の活動促進等に一定の効果がみられました。

また、被災地の限られたスペースで一坪農園を設置できることがわかりましたので、この設置方法について、被災地の住民だけでなく、広く県民に周知するため、『一坪農園開園マニュアル』を作成しましたので、ご紹介させていただきます。皆様にご活用されることをご期待いたします。

- 1 木枠の製作
- 2 ブロックの設置
- 3 木枠の設置
- 4 下土入れ
- 5 土入れ
- 6 苗や種の植え付け
- 7 留意事項

一坪農園開園マニュアル

1 木枠の製作

設置場所に合わせた大きさ(規模)で製作する。高さは0.4mに設定するとよい。これは、過度に腰を曲げて作業をすることがなく、また、腰が曲がり小柄な高齢者の方であっても作業が行いやすいためである。

木枠の製作は、個人でもできるが、ホームセンターにも依頼できるので相談されるとよい。

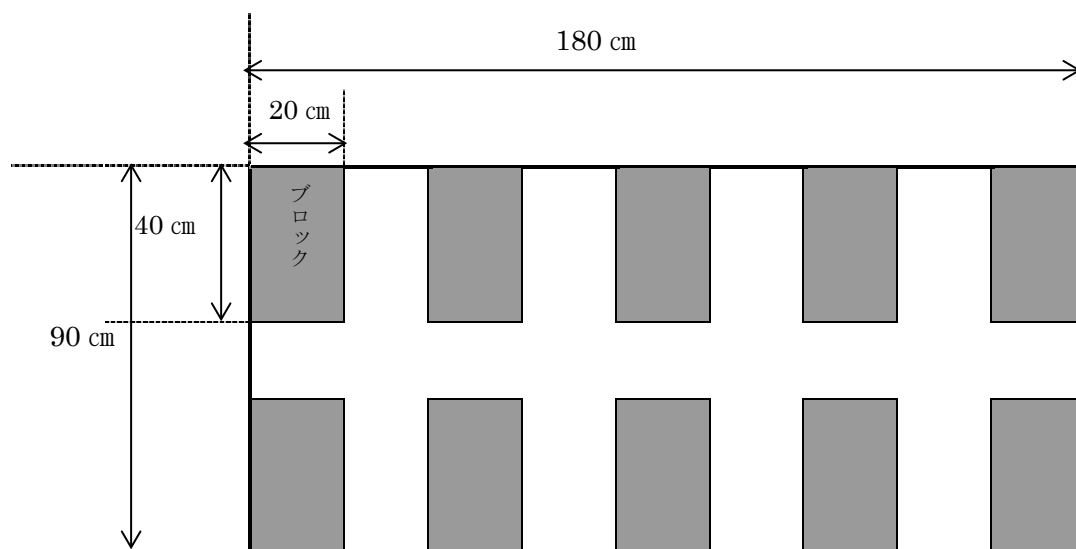


標準的な木枠の大きさ
長さ 1.8m×幅 0.9m×高さ 0.4m

2 ブロックの設置

農園用木枠の土台となるコンクリート製のブロックを、水平器等を用いて平らになるように設置する。

参考) 10個のブロックを敷く。



3 木枠の設置

2で設置したブロックの上に、木枠を設置する。

木枠は重いので、成人男性4人以上で持ち運ぶ。

ブロックの上にとっかりと乗ったことを確認する。

作物の順調な育成のため、日当たりを考慮した場所に設置する。また、水やりの作業のため、水場からの距離も考慮する。



4 下土入れ

3で設置した木枠の中に、水はけを良くするため下土(鉢底の土)を入れる。

木枠の底には穴が開いてあるので、ネット等で穴をふさいでから下土を入れる。底が隠れる程度に敷き詰める。



5 土入れ

3で下土を入れた木枠の中に土（培養土）を入れる。

その後、肥料（牛ふん堆肥）、消石灰を入れ、くわ等を使ってよく混ぜる。

参考)

14Lの培養土 40～50袋、40Lの牛ふん堆肥

0.5袋、20Lの消石灰 0.5袋



6 苗や種の植え付け

シャベル等を使って、種や苗を適切な間隔で植える。

その後、たっぷりと水を与える。



7 留意事項

(1) 共同参加による農園の設置

共同で農園を管理し、農作業を行うことにより、コミュニティづくりの促進にもつながるため、共同で農園の設置をすることが好ましい。

(2) 専門家による作物の育成指導

作物が順調に生育するように、開園の時点からの専門家に指導してもらうのが好ましい。

問合せ先

公益財団法人 いきいき岩手支援財団

岩手県高齢者総合支援センター

〒020-0015 岩手県盛岡市本町通三丁目 19-1

岩手県福祉総合相談センター3F

Tel 019-625-7490

Fax 019-625-7494